

問1 ヒトやウマ、ネコなどのように、生まれたときから親とよく似た形や特徴とくちょうをもっている動物のことを何といいますか。

問2 ヒトやウサギ、イヌなどのように、生まれたときから親とよく似た形や特徴とくちょうをもっている動物のことを何といいますか。

問3 親と似た姿すがたで生まれる動物の受精卵じゅせいらんが、たまごで生まれる動物の受精卵じゅせいらんよりも小さいのはなぜですか。

問4 生まれ出てきたばかりのヒトの子どもは、母親から何をもらって育ちますか。

問5 受精において、女性の体内でつくられた卵たまご（卵子らんし）と結びつくものはどれですか。

問6 母親の体内にある「子宮」という場所では、何が行われますか。

問7 胎児たいじ（たいじ）は、母親の体のどこで育ちますか。

問8 メダカやカエル、サケ、ニワトリなどのように、親が卵たまごを産んでなかまをふやす動物を何といいますか。

問9 生まれただけのヒトの子どもの体重である約3000gは、何kgと同じ重さですか。

問10 生まれ出てきたばかりのヒトの子どもは、だれからちちをもらって育ちますか。

問11 ヒトの子どもは、お母さんの子宮の中でどのような状態で育ちますか。

問12 親と似た姿すがたで生まれる動物と、たまごで生まれる動物をくらべたとき、受精卵じゅせいらんの大きさにはどのようなちがいがありますか。

問13 卵たまごを産む動物の卵たまごの中で、子どもはどのようにして育つための養分をとり入れますか。

問14 おなかの中の子どもとたいばんをつなぎ、母親からの養分などを受け取るためのくたを何といいますか。

問15 母親の体内にある「へその緒お」を通して、赤ちゃんは母親との間でどのようなことをおこなっていますか。

問16 たいばんたいばん（胎盤）には、どのようなはたらきがありますか。

## 答え合わせ・解説 No.2

問1	<b>答え</b> 親と似た姿 <small>すがた</small> で生まれる動物	ヒトやウマ、ネコなどは、生まれたときから親とよく似た姿 <small>すがた</small> をしています。このような動物を「親と似た姿 <small>すがた</small> で生まれる動物」といいます。
問2	<b>答え</b> 親と似たすがた <small>すがた</small> でうまれてくる動物	ヒトやウサギなどは、生まれたときから親とよく似た姿 <small>すがた</small> をしています。このような動物を「親と似たすがた <small>すがた</small> でうまれてくる動物」といいます。
問3	<b>答え</b> 成長に必要な養分をためこんでいないから。	親と似た姿 <small>すがた</small> で生まれる動物は、受精卵 <small>じゅせいらん</small> の中に成長に必要な養分をためこんでいないため、受精卵 <small>じゅせいらん</small> の大きさが小さくなります。
問4	<b>答え</b> ちち	生まれたばかりのヒトの子どもは、母親からちちをもらって栄養をとり、育ちます。
問5	<b>答え</b> 男性の体内でつくられた精子	受精は、女性の体内でつくられた卵 <small>たまご</small> （卵子）に、男性の体内でつくられた精子が結びつくことです。
問6	<b>答え</b> 受精卵 <small>じゅせいらん</small> （ヒトの子ども）が育つ。	子宮は、母親の体内で受精卵 <small>じゅせいらん</small> （ヒトの子ども）が育つための大切な場所です。
問7	<b>答え</b> 子宮（しきゅう）	胎児 <small>たいじ</small> は、母親の体の中にある子宮という場所で安全に育ちます。
問8	<b>答え</b> 卵 <small>たまご</small> を産む動物	メダカやカエル、サケ、ニワトリなどのように、親が卵 <small>たまご</small> を産む動物のことを「卵 <small>たまご</small> を産む動物」といいます。
問9	<b>答え</b> 約3kg	1kgは1000gなので、生まれたばかりのヒトの体重である約3000gは、約3kgと同じ重さになります。
問10	<b>答え</b> 母親	生まれたばかりのヒトの子どもは、母親からちちをもらって育ちます。
問11	<b>答え</b> 羊水という液体につかった状態	ヒトの子どもは、子宮の中を満たしている羊水という液体につかって育ちます。
問12	<b>答え</b> 親と似た姿 <small>すがた</small> で生まれる動物のほうが小さい。	親と似た姿 <small>すがた</small> で生まれる動物の受精卵 <small>じゅせいらん</small> は、たまごで生まれる動物の受精卵 <small>じゅせいらん</small> よりも小さくなっています。
問13	<b>答え</b> 卵 <small>たまご</small> の中に含まれる養分 <small>ふく</small> を使って育つ	卵 <small>たまご</small> を産む動物の子どもは、親の体から栄養をもらうのではなく、卵 <small>たまご</small> の中に最初から含まれている養分 <small>ふく</small> を使って育ちます。
問14	<b>答え</b> へそのお	子どもとたいばんをつなぎ、母親から養分などを受け取るためのくだを「へそのお」といいます。
問15	<b>答え</b> 養分や不要物の受けわたし	へその緒 <small>お</small> は、母親の体内において、養分や不要物を母親との間で受けわたすための通り道として使われます。
問16	<b>答え</b> 胎児 <small>たいじ</small> に養分を送り、いらなくなったものを受け取るはたらき。	たいばん <small>たいばん</small> （胎盤）は、へそのおを通して胎児 <small>たいじ</small> に養分を送り、いらなくなったものを受け取るはたらきをしています。